

加藤憲一市長との懇談会 議事録（県西オンフスマン）

2024年7月17日

質 真っ当な市政とは？

答 公平・公正・透明性があることが大前提。

行政手続きとして筋を通している。

質 前市政の、市民から様々指摘されている問題については？

答 事実どういうことがあったのか確認をする。職員への聞き取り、リサーチをすでに始めている。ジャッジは行政法や行政手続きに精通している方に任せる。分かったことは決して秘匿することなくすべて公表していく。

質 清閑亭問題については？

答 監査請求が4点あった。1点目は3か月以内にとされている。安藤副市長が采配して調べている。調査後、専門家のジャッジを仰ぎたい。

事業者との打ち合わせが文書に残っていないのは忸怩たるものがある。所有権の適正化、違法状態をなくすことに尽力したい。

質 公務記録のない政策監問題は？

答 検証していくしかない。

質 富士山の噴火対策について？

答 ここ300年静かなのが異常。いつ来てもおかしくない。そこで、降灰対策をリアルに考える。すでに指示している。想定される被害を細かく考え、灰の処理や通信途絶対策も講じたい。まだ予算まではいっていないが、考えている。

質 職員への聞き取りで、職員が自分の身を守ろうとし、黙ってしまうこともあるのでは？

答 できるだけ丁寧に聞き取るしかないし、第三者機関の視点で確認する必要があることがあれば、確認したい。

質 市民に期待することは？

答 市民の皆さんと一緒に動いてほしい。市の課題をともに共有して、ともに乗り越えていくことをお願いしたい。